

2019年 春学期

社会科・公民科教育法 1 第9回

社会科教材研究(1)：教科書分析と 「問いを重ねる」グループワーク

「振り返りジャーナル」について

テーマを自分で設定すること

※必ず、一番上の行に「～～？」という、
問いを立ててから書き始めてください。

※それ以外の感想なども
プラスして書いてOKです。

この授業に関連すれば、独自の問いについて、
論じてもらってOKです。

今日の授業の目的共有

1. 問いの深さを、グループで追究する意義を実感すること
2. 「優先事項」と「永続的な理解」について、大まかなイメージを把握すること
3. 次回のグループ発表の趣旨を理解すること

今日の授業の目次

導入

フックトークの時間(15分)

【授業】

1. 【講義】「教科書を」ではなく「教科書で」
2. 【検討】問いを重ねるグループワーク
3. 【検討】グループワークの発表
4. 【講義】教育内容の優先事項と「永続的な理解」

- ・次回までの課題についての説明
- ・振り返りジャーナルの時間

この授業の目指すコンセプト

1. 学びの「遊び感」を大切にする。
2. 学びの目的意識(≒納得感)を共有することを大切にする。
3. まだ知らない自分自身を再発見し続ける。振り返る。
4. 他者から学ぶ(チームを組む)×リットを実感する。

自分でも気を付けます。

ブックトーク(15分間)

1. 斉藤の本紹介(1分)
2. 期限までに発表者数名の本紹介内容に対して、**2名分を選んで感想レポートを提出してください(200字と**オススメ本**)**
3. 今週の「ブックトークの情報共有ネットワークの構築プリント」を配ります。

今日の斉藤の一冊

本の表紙
(授業時のみ)

田中宏(2013)「在日外国人 第三版——法の壁、心の溝」

一日10分でも良いので読書が続けてみよう

発表者が読みたいと思う本を工夫して薦めるように

授業やいます

【復習】暗記学習にしないためにも、 教師が教科書内容に疑問を持つことが大切

教師も理由を説明できない内容が教科書に書かれており、生徒もその因果関係や解釈が抜け落ちた(不明瞭な)説明に腑に落ちない。実は、そんなことが実は起こりがち。

だからこそ、生徒は、用語を暗記で丸のみするような覚え方になってしまう。

社会科教師は、教科書内容を自らが「なぜ？」「ほんと？」の「ぎもん・つっこみ」の視点で吟味して、独自に探究をする必要がある。

⇒結果的に授業作りの「発問」や「主発問」を見つけることに繋がることもある。

教科書を教えるではなく、教科書で教える ということ

教育内容とは？

- 教育的に価値があるものとして選ばれた文化内容(新教育学大辞典)

教材とは？

- その教育内容を学ぶ手段としての材料(新教育学大辞典)
- 教育内容と対になる概念であり、教育内容を体現し具体的に担う素材のこと(社会科教育指導用語辞典)

**「教科書 = 教育内容」ではない。
教科書は目的ではなく手段。**

その教科書範囲で、伝えたい教育内容とは何か？

優先事項を見極めて、 永続的理解の内容を問い直す

10

知っておく価値はあるが、
優先順位としてはやや低い

現時点において、これらのことを
知ること・することが重要である

ほとんどの記憶が消え去ってしまっても、
これだけは残っていてほしいと思う、
この授業で本当に教えたいこと

【永続的理解】

本の表紙
(授業時のみ)

「あれもこれも」ではなく、
本当に教えるべきことは何なのか？

ウィギンス&マクタイ
著：西岡加名恵訳
(2012)「理解をもたらすカリキュラム設計」

グループで問いを重ねる

問いが思いつかない ≠ 理解できている

問いが思いつかない = そもそも理解
できていない
= ある意味、学びの
場に参加できて
いない

本の表紙
(授業時のみ)

ダン ロスステイン・ルース
サンタナ著(2015)「たった
一つを変えるだけ: クラス
も教師も自立する「質問づ
くり」」

**多くを問う者は、多くを学び、
多くを保持する。**

グループで問いを重ねる

個人作業

自分が調べた「ぎもん・つっこみ」を付箋に書き出してみましょう。
(長文は短く要約しつつ)(5分程度)

グループ作業

- 「ぎもん・つっこみ」を一つずつ、紹介し合いながら、付箋を机に貼っていきましょう。(新しく思いついた問いをどんどん加えて良い)
- 一通りの「ぎもん・つっこみ」が出たら、どの「ぎもん・つっこみ」が深いかなぜそれが深いと言えるのか？をグループで話し合ってください。(グループ活動は30分程度)

全体発表

グループで選んだ深い問いベスト5と、それを選んだ理由について、発表してもらいます。(発表者は2人)

次回までの課題についての説明(重要)

**次回の授業までに、別添資料を読んだ上で、
グループごとに発表資料(パワーポイント)を
完成させてきてください。**

指導案について

**学習指導案の書き方に関する考え方
(社会科・公民科教育法2019年・春版)**

**来週・再来週と使います。
持ってきてください。**

出来れば読んでおいて下さい。

「振り返りジャーナル」の時間

テーマを自分で設定すること

※必ず、一番上の行に「～～？」という、
問いを立ててから書き始めてください。

※それ以外の感想なども
プラスして書いてOKです。

問いを重ねるグループワーク 範囲は「_____」

深いと思った問いベスト5 (手書きで書く)

それ以外の問い (付箋を並べる・重ねて良い)

グループメンバーの名前(フルネームで)

(発表者 _____)(発表者 _____)
(作成者 _____)(その他 _____)

【課題の説明】 第 9 回の社会科・公民科教育法 1 の課題について

○課題の趣旨

第 10 回目の授業では、グループごとで、担当範囲の『ぎもん・つっこみ』のいくつかの調査報告をしてもらいます。発表してもらおう「ぎもん・つっこみ」は第 8 回の授業にグループでまとめてもらった上位 5 つの「ぎもん・つっこみ」の中から一人 1 つ選んだものです。

それに関して、当日の調査報告は、パワーポイントで行ってほしいと思います。皆の前で資料を使いながら、問いを解き明かし、堂々と説明してもらおうためです。以下、その概要について説明します。

○発表の方法・手順

1. 最初に該当する教科書のページについて、クラス全体で一読する時間をとります。(2分)
2. グループ発表はパワーポイントを使って行います。グループのメンバーが順番に、担当した「ぎもん・つっこみ」の内容と調査結果について、一人 1 分半程度ずつくらいで発表してもらいます。(1 分半×人数分)
3. グループ発表が終わったら、聞き手は発表の分かりやすさ・問いの深さを評価する時間にします。

○パワーポイントの内容について

- パワーポイントには表紙を付けてください(グループのメンバー名、該当範囲などを記載したもの:細かい形式は自由)
- グループのメンバーは一人 1 つの「ぎもん・つっこみ」を担当していると思いますが、各担当者の報告スライドには以下の三点を入れてください。
 - (1) 担当した「ぎもん・つっこみ」の意図を説明する内容
 - (2) 担当した「ぎもん・つっこみ」の答え・調査結果を象徴しそうな写真か図表を一枚大きく映したもの
 - (3) 調査結果を説明した内容※なお、(1)(2)(3)の情報は一枚のスライドにまとめても、複数のスライドに分けて OK です。
- 各担当者が自分のスライドを作った上で、それらのデータをグループでまとめて(統合して)きてください。
- 当日にデータを USB で斉藤の PC に入れて、発表してもらいます(USB は持参すること)。

○なぜスライドにまとめるのか?

授業時の提示資料の一環だと思って、聞き手の理解を深められるような資料を一枚選んできてほしいからです。(今は ICT 機器などで、史資料をスライドで写すことはよくあります)。聞き手の学生と問いを共有した上で、一枚の資料 or 写真をドーンと大きく提示してもらって、説明してもらえればと思います。

○その他の発表上の留意点

- 調べた担当者が自分のスライドを発表してください。
- 説明はカンペを見ずに、話してほしいと思います。(スライドは見ても良いが、出来るだけ前を向く)
- 課題の趣旨が理解できなかったり、疑問がある人は、いつでも斉藤まで連絡もしくは研究室訪問をしてください。

教材研究報告シート

氏名()

1. あなたにとって、「社会科の授業を通して、生徒に獲得して欲しい力」とは何ですか？公民的資質の視点と関連付けて、出来る限り具体的に述べて下さい。また、その力を獲得して欲しい理由も書いて下さい。

【社会科の授業を通して、獲得して欲しい力】

【その力が重要だと思う理由】

※第三者が読んでも意味が分かるように、ある程度具体的に書くこと

2. 本時の授業の目標(学習指導案に書いたものを再度書く) (※これは、主発問ではありません。)

※上の「社会科の授業を通して、獲得して欲しい力」を毎時間ダイレクトの育てることはできないかもしれないが、少しでも意識した目標であって良いと思います。

※目標の文章は、第三者が読んでも意味が分かるように、ある程度具体的に書くこと

3. 本時の授業内容の内容上の優先事項を明確にして、下記に示してください。

各円の中に書く内容は、キーワードではなく、文章で書くこと (例：〇〇は～～である。)

知っておく価値はあるが、
優先順位としてはやや低い

現時点において、これらのことを
知ること・することが重要である

ほとんどの記憶が消えてしまっても、
これだけは残っていてほしいと思う、
この授業で本当に教えたいこと

4. この範囲を扱う授業者が読むべきだと思うおすすめ本を二冊紹介してください。その際に、「本の概要」と「授業と関連し得るといったポイント・情報など」について、他の授業者に有益になり得るような形で説明してください。
(ただ、「授業と関連し得るといったポイント・情報など」に書いたからといって、授業でぜったいに触れないといけない、という意味ではありません)

オススメ本①

【基本情報】 著者名、出版年、タイトル、出版社。(例：著者(出版年)『タイトル』出版社)
【本の概要】(6行程度書くこと)
【授業と関連し得るといったポイント・情報など】(5行程度書くこと)

オススメ本②

【基本情報】 著者名、出版年、タイトル、出版社。(例：著者(出版年)『タイトル』出版社)
【本の概要】(6行程度書くこと)
【授業と関連し得るといったポイント・情報など】(5行程度書くこと)

※この「教材研究報告シート」は、指導案提出日の2日以上前に斉藤までメール送信し、OKを貰うこと(内容不十分だと書き直しを指示します)